

X染色体

X染色体 えつくすせんしょくたい

性決定様式がX Y型の生物において、雌雄に共通に存在する性染色体のことをいう。雄のみに存在する性染色体はY染色体と呼ぶ。一般に生物は細胞内に2種類の性染色体を持ち、それらが同じ場合（同型接合）と異なる場合（異型接合）とによって、雌雄の区別が発生する。雄が異型接合で雌が同型接合の性決定様式をX Y型、この逆をZ W型と呼ぶ。植物の大部分、及び動物のなかで哺乳類の大部分はX Y型である。なお性の区別をもつ生物のなかには、ただ1種の染色体が性に関与しているもの、またX Y型の決定様式をもっているショウジョウバエのように雄性がX染色体の量で決定されるものもある。

<登録年月>

1998年01月
